

生活者 15万人調査



日本一般用医薬品連合会



日本OTC医薬品協会

1.R4年度税制改正要望とその結果

- ✓ **2017年～2021年 現行のセルフ税制**
 - スイッチ89成分 → 医療用との代替性
 - 4年間のセルフ税制利用者は延べ10万7千人

- ✓ **20年7月税制改正要望～21年3月法改正**
 - 5年間の延長 ○
 - 税制対象医薬品の範囲拡大 △
 - 所得税控除額の算出方法の見直し ×
 - 手続きの簡素化 △

- ✓ **2022年～2026年 新しいセルフ税制**
 - 3症状群（かぜ、アレルギー、外用鎮痛消炎）
 - 非スイッチ42成分 → 医療費適正化効果

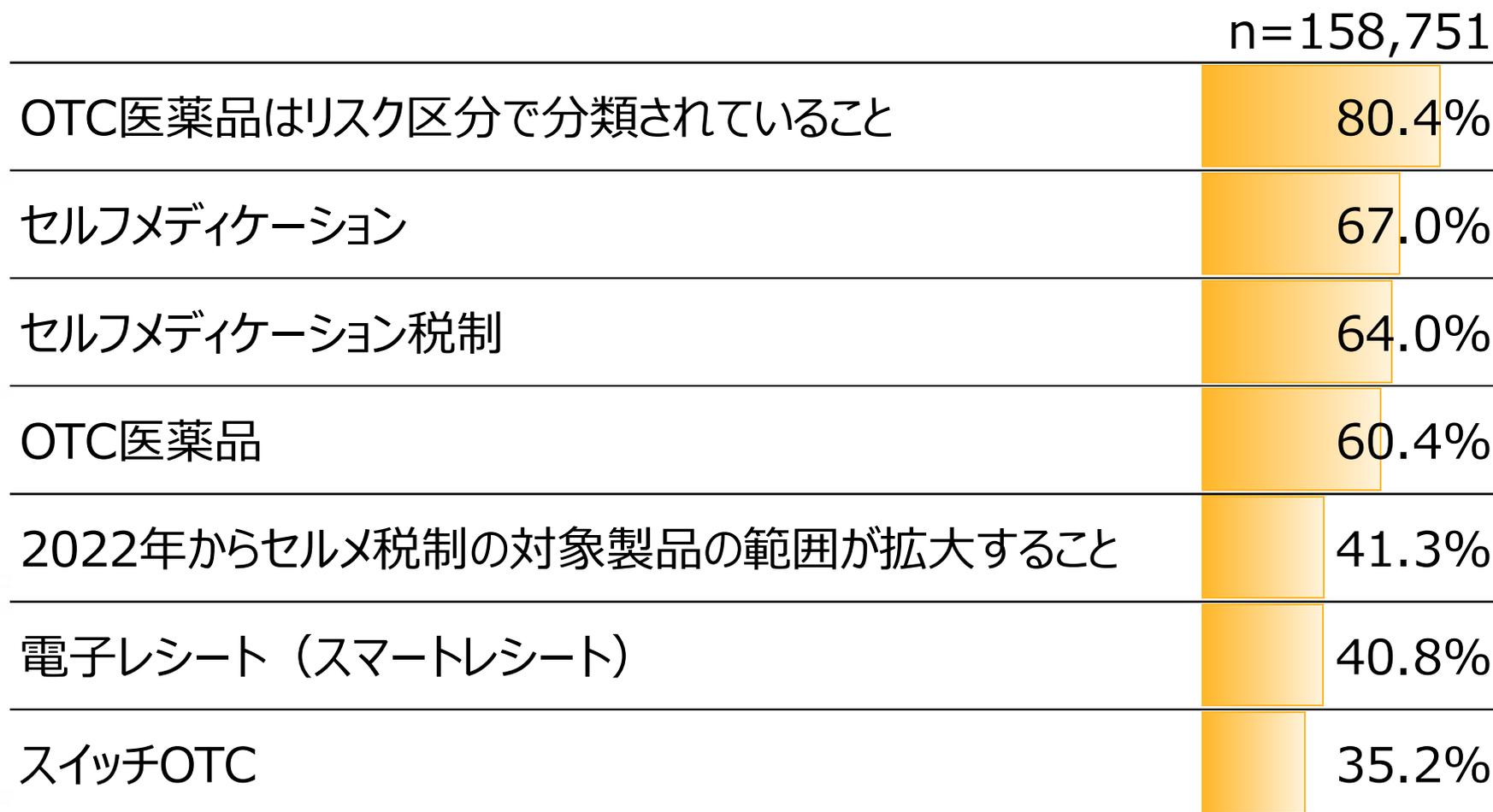
2.2020年度の主な調査研究結果

- ✓ OTC利用による受診 1 回減で、医療費は 6,820円削減。
（出所：第 1 回セルフ Medikation 推進に関する有識者検討会（2021年 2 月））

- ✓ セルフ税制利用者の医療費削減効果は、
1 人平均で21,640円/年間。
（出所：(株)JMDCによる健康保険組合のレセプト調査（2020年11月））

注：上記の結果を踏まえて、今回の生活者15万人調査では、医療経済調査を組み込まず、制度・用語の認知や、意識・行動、リテラシー、セルフ税制利用の動機、等に特化した調査となっています。

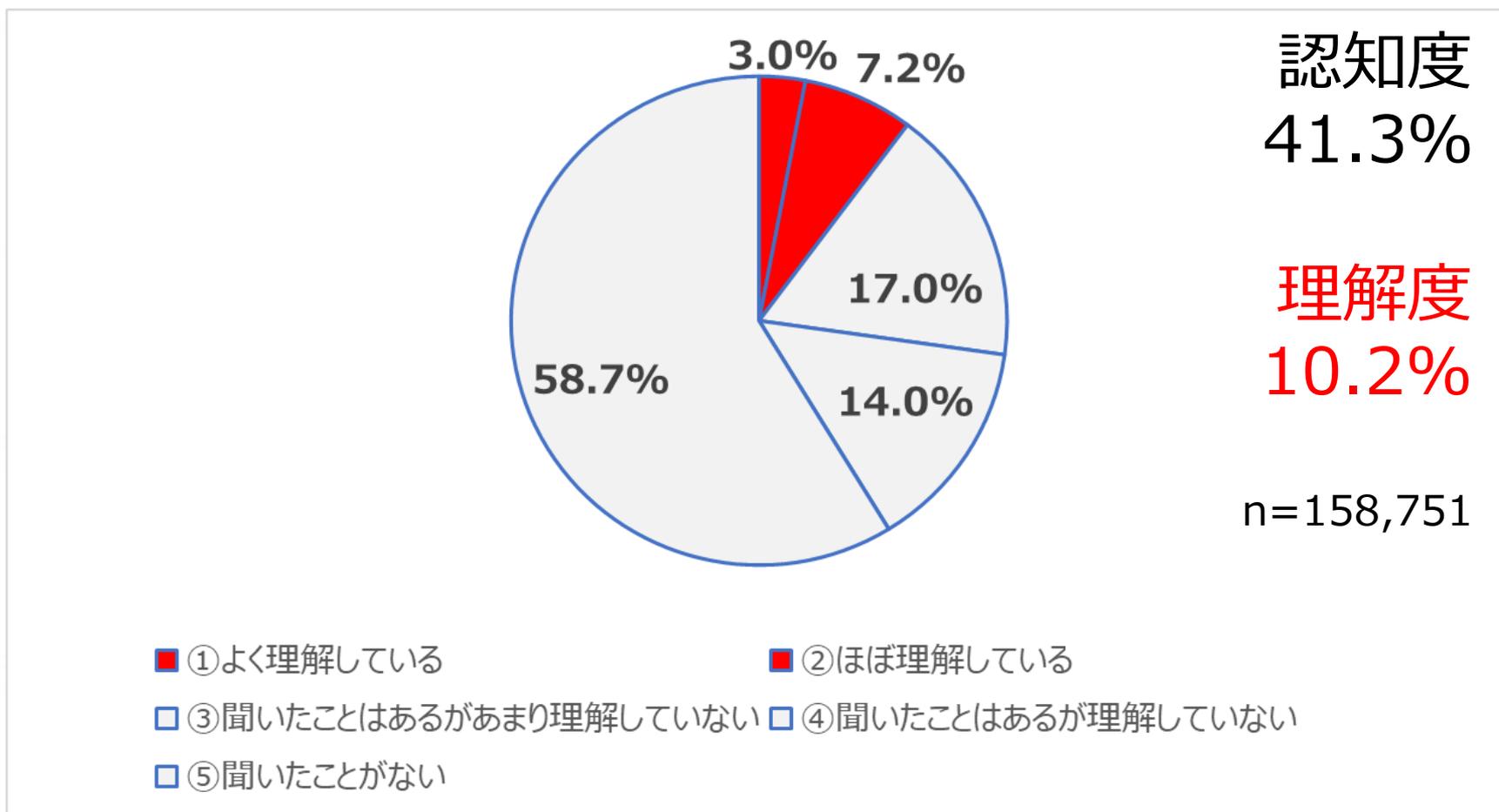
制度・用語の認知



認知度：①よく理解している、②ほぼ理解している、③聞いたことはあるがあまり理解していない、④聞いたことはあるが理解していない、⑤聞いたことがない、のうち①から④までの合計

新制度の認知・理解

【セルフメディケーション税制は2022年から対象となる製品の範囲が拡大される】



2020年の1年間に経験した症状と対処

2020年	n=158,751			n=123,859
	経験した	受診した	OTC対処	OTC購入
肩こり・首の痛み	49.9	5.8	10.2	12.7
腰痛	44.2	7.4	8.3	10.0
頭痛・生理痛	43.0	3.7	24.5	23.5
アレルギーの諸症状（鼻）	39.3	13.5	13.0	19.3
風邪の諸症状	35.4	14.4	15.5	39.0
アレルギーの諸症状（目）	32.0	9.4	12.2	10.4
関節痛	23.6	4.3	3.8	3.7
疲れ・だるさ・倦怠感	51.7	2.3	4.7	7.3
目の疲れ、かすみ、乾き	51.4	5.3	22.0	25.2
下痢、便秘	47.6	4.0	13.4	13.2
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	43.5	10.8	17.0	16.9
胃の痛み・もたれ・胸やけなど	36.7	5.5	16.0	13.3
眠れない	31.5	5.4	1.5	2.0
頻尿、尿もれなど	19.4	1.9	0.9	0.9
膣カンジダ	5.3	1.5	0.8	0.4

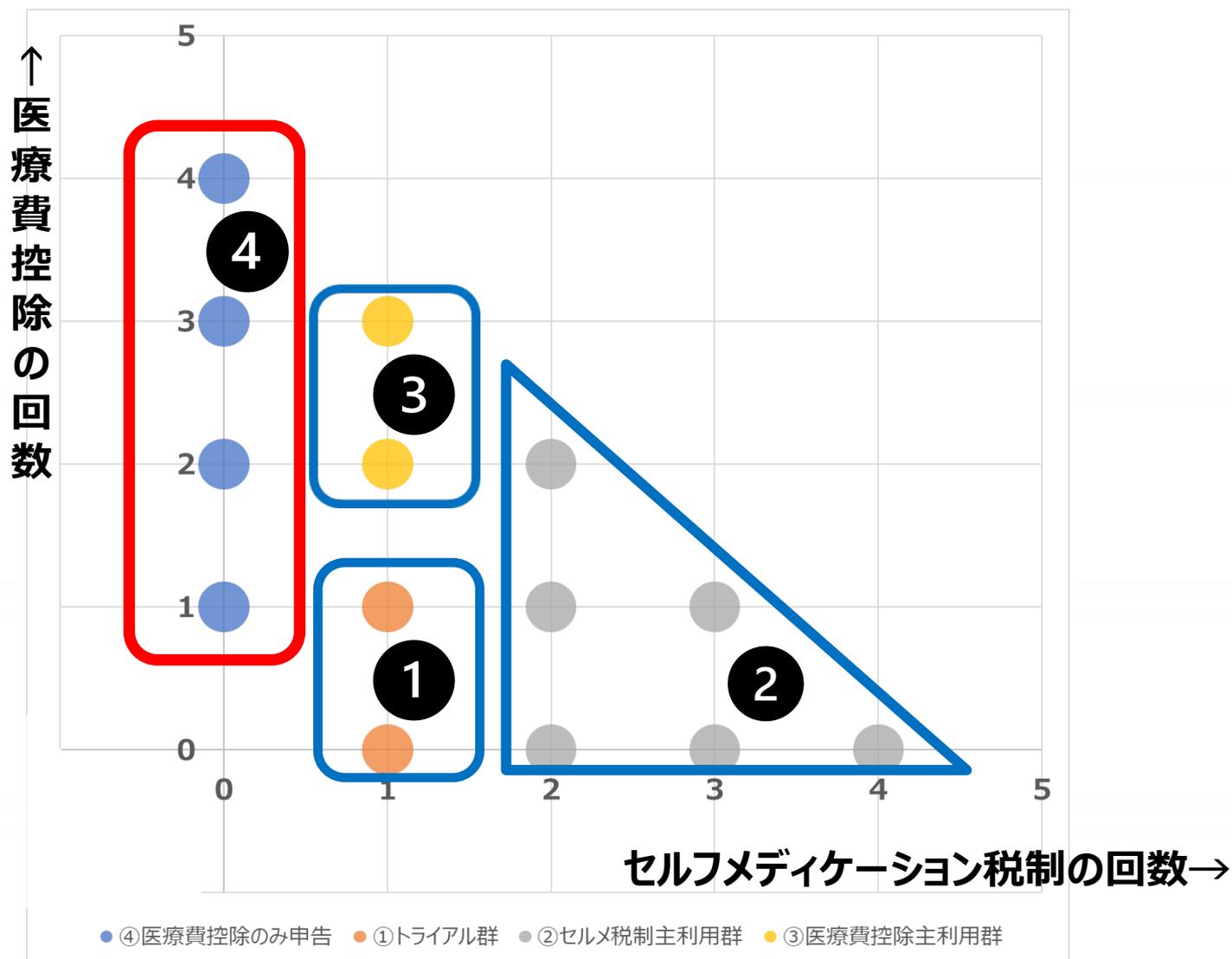
青グラフ：2022年からセルフ薬税制の対象が拡大する症状群

2次調査では、セルフメディケーション税制を利用された方（セルメ税制利用群）の意識と行動を調査することにより、セルフメディケーション税制の意義、課題を検討しました。

- 症状経験と対処方法（OTC使用率、受診率）
- 健康意識と行動
- コロナ禍での変化
- リテラシー
- 確定申告の理由
- 今後の対象範囲拡大を希望する症状（薬効）
- 確定申告の準備状況
- セルフメディケーション税制利用の動機
- セルフメディケーション税制の意義

セルフメディケーション税制利用群の特徴

2017年分～2020年分、計4回の確定申告実績にもとづくイメージ図



セルフメディケーション税制利用群の特徴

税制利用群は、15症状の全てで、
症状経験率が15万人の平均値よりも高かった
 (一定以上、症状を経験した人がセルフメディケーション税制を利用すると推察される)

症状・対処

セルフメディケーション税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフメディケーション税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
(n=138)	(n=125)	(n=108)	(n=158751)

2020年の1年間の症状経験と対処状況(MA)

症状経験率	セルフメディケーション税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフメディケーション税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
風邪の諸症状：熱・頭痛、咳や痰が出るなど	70.3	39.2	37.0	35.4
アレルギーの諸症状：鼻づまり・鼻汁など	79.0	41.6	35.2	39.3
アレルギーの諸症状：目のかゆみ、充血など	67.4	37.6	29.6	32.0
肩こり・首の痛み	76.8	55.2	44.4	49.9
腰痛	67.4	56.8	40.7	44.2
関節痛	50.0	32.8	27.8	23.6
頭痛、生理痛	71.0	35.2	38.9	43.0
胃の痛み・胃酸過多・胸やけ、胃もたれなど	65.2	43.2	30.6	36.7
下痢、便秘	70.3	42.4	49.1	47.6
疲れ・だるさ・倦怠感	79.0	52.0	45.4	51.7
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	70.3	48.8	41.7	43.5
目の疲れ、目のかすみ、目の乾き	81.2	56.0	42.6	51.4
頻尿（尿が出る回数が多い）、尿もれなど	42.8	28.0	17.6	19.4
眠れない	56.5	32.8	25.9	31.5
膣カンジダ【ベース：女性】	21.7	0.0	4.1	5.3

セルフメディケーション税制利用群の特徴

税制利用群は、15症状の全てで、
OTC使用率が15万人の平均値よりも高かった

症状・対処	セルフメディケーション税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフメディケーション税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
	(n=138)	(n=125)	(n=108)	(n=158751)
2020年の1年間の症状経験と対処状況(MA)				
OTC使用率				
風邪の諸症状：熱・頭痛、咳や痰が出るなど	57.2	28.0	8.3	15.5
アレルギーの諸症状：鼻づまり・鼻汁など	60.1	13.6	6.5	13.0
アレルギーの諸症状：目のかゆみ、充血など	53.6	14.4	8.3	12.2
肩こり・首の痛み	52.2	12.0	5.6	10.2
腰痛	47.1	8.8	4.6	8.3
関節痛	35.5	2.4	2.8	3.8
頭痛、生理痛	60.1	20.0	19.4	24.5
胃の痛み・胃酸過多・胸やけ、胃もたれなど	50.0	24.8	7.4	16.0
下痢、便秘	47.1	11.2	6.5	13.4
疲れ・だるさ・倦怠感	37.7	6.4	0.9	4.7
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	53.6	18.4	13.0	17.0
目の疲れ、目のかすみ、目の乾き	61.6	24.8	16.7	22.0
頻尿（尿が出る回数が多い）、尿もれなど	21.7	0.8	0.0	0.9
眠れない	26.8	1.6	0.0	1.5
膣カンジダ【ベース：女性】	19.6	0.0	0.0	0.8

セルフメディケーション税制利用群の特徴

軽い症状であればOTCで対処している
食生活に気をつかう

68.1%

60.1%

健康意識・行動

セルフ税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフ税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
(n=138)	(n=125)	(n=108)	(n=158751)

普段の健康に関する意識・行動 (1) 現在行なっていること

健康意識・行動	セルフ税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフ税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL	
OTC購買・対処	OTC医薬品をインターネット通販で購入する	44.9	4.0	1.9	2.7
	ドラッグストアでの買い物で、薬剤師や店員に相談する	34.1	9.6	0.9	4.3
	軽い症状であれば、OTC医薬品で対処する	68.1	34.4	13.9	21.9
	OTC医薬品で早めの対処を行なう	52.2	12.8	1.9	7.5
病院受診	軽い症状であれば病院や診療所に行かない	38.4	29.6	12.0	24.1
	病院や診療所の受診をできるだけ控える	30.4	9.6	7.4	10.5
健康意識・行動	食生活に気をつかう	60.1	28.8	10.2	18.3
	ジムに通うなど、運動を定期的にする	39.1	16.0	2.8	8.4
	睡眠（時間や質）に気をつかう	55.1	34.4	7.4	17.1
	健康管理のために、アプリを継続して利用している	41.3	15.2	4.6	7.0
	健康管理のために、手書きで継続して記録している	28.3	8.0	2.8	4.4
	何か症状がある場合、そのままにせず何らかの対処をする	41.3	18.4	1.9	10.4
	自分の体調変化を気にかけている	52.9	37.6	12.0	22.5

セルフメディケーション税制利用群の特徴

コロナ禍になってから、受診をできるだけ控えている 21.7%

健康意識・行動

普段の健康に関する意識・行動 (2) コロナ禍になってから始めたこと

		セルフ税制利用群 ①②③ (n=138)	利用予備群 医療費控除あり ④ (n=125)	利用予備群 セルフ税制認知・ 利用意向なし ⑦ (n=108)	TOTAL (n=158751)
OTC購買・対処	OTC医薬品をインターネット通販で購入する	21.0	0.0	1.9	0.6
	ドラッグストアでの買い物で、薬剤師や店員に相談する	17.4	0.8	0.0	0.7
	軽い症状であれば、OTC医薬品で対処する	23.2	4.8	4.6	4.3
	OTC医薬品で早めの対処を行なう	19.6	1.6	0.0	1.5
病院受診	軽い症状であれば病院や診療所に行かない	10.9	5.6	3.7	5.8
	病院や診療所の受診をできるだけ控える	21.7	4.8	0.9	4.3
健康意識・行動	食生活に気をつかう	25.4	4.8	4.6	4.3
	ジムに通うなど、運動を定期的にする	17.4	3.2	0.0	1.7
	睡眠（時間や質）に気をつかう	20.3	4.0	1.9	4.1
	健康管理のために、アプリを継続して利用している	24.6	3.2	0.0	1.7
	健康管理のために、手書きで継続して記録している	16.7	0.8	0.9	1.1
	何か症状がある場合、そのままにせず何らかの対処をする	21.7	1.6	0.0	2.5
	自分の体調変化を気にかけている	23.2	11.2	7.4	8.6

セルフメディケーション税制利用群の特徴

税制利用群は、15症状の全てで、
病院受診率が15万人の平均値よりも高かった
 (症状の重症度に応じてOTCと受診とを使い分けていると推察される)

症状・対処

セルフメディケーション税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフメディケーション税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
(n=138)	(n=125)	(n=108)	(n=158751)

2020年の1年間の症状経験と対処状況(MA)

病院受診率	セルフメディケーション税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフメディケーション税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
風邪の諸症状：熱・頭痛、咳や痰が出るなど	39.1	19.2	16.7	14.4
アレルギーの諸症状：鼻づまり・鼻汁など	34.1	16.8	12.0	13.5
アレルギーの諸症状：目のかゆみ、充血など	25.4	13.6	9.3	9.4
肩こり・首の痛み	18.8	9.6	2.8	5.8
腰痛	21.0	16.8	3.7	7.4
関節痛	16.7	8.8	1.9	4.3
頭痛、生理痛	15.9	2.4	2.8	3.7
胃の痛み・胃酸過多・胸やけ、胃もたれなど	20.3	8.0	6.5	5.5
下痢、便秘	17.4	7.2	3.7	4.0
疲れ・だるさ・倦怠感	18.1	4.0	0.9	2.3
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	23.2	16.8	12.0	10.8
目の疲れ、目のかすみ、目の乾き	17.4	11.2	2.8	5.3
頻尿（尿が出る回数が多い）、尿もれなど	14.5	4.0	0.9	1.9
眠れない	19.6	8.8	3.7	5.4
膣カンジダ【ベース：女性】	13.0	0.0	0.0	1.5

セルフメディケーション税制利用群の特徴

IT・金融リテラシーが高い

確定申告の理由	①②③	④
自営業	21.0	21.6
副業	25.4	15.2
年金	16.7	22.4
年末調整未実施	19.6	8.8
寄付（ふるさと納税含む）	42.8	30.4
住宅ローン	15.2	7.2
株式・投資信託売却	34.1	19.2

リテラシー

セルフ税制利用群 ①②③	利用予備群 医療費控除あり ④	利用予備群 セルフ税制認知・ 利用意向なし ⑦	TOTAL
(n=138)	(n=125)	(n=108)	(n=158751)

お金・確定申告に関してあてはまるもの(MA)

家計簿のアプリやソフトを利用してお金の管理をしている	50.0	24.0	1.9	9.8
家計簿を手書きでつけてお金の管理をしている	30.4	6.4	3.7	9.1
商品を購入時のレシートを保管してお金の管理をしている	54.3	23.2	3.7	11.1
電子レシートアプリを利用してお金の管理をしている	28.3	2.4	0.9	1.9
株式、投資信託、債券などの投資経験がある	62.3	53.6	3.7	16.0

市販薬に関することの認知理解

認知率	市販薬のリスク分類	96.4	87.2	84.3	80.3
	OTC医薬品	93.5	72.0	66.7	60.4
	スイッチOTC	84.8	43.2	44.4	35.2
	セルフメディケーション	99.3	84.0	77.8	67.0
	電子レシート（スマートレシート）	76.8	40.8	53.7	40.8
理解率	市販薬のリスク分類	79.0	40.0	37.0	32.9
	OTC医薬品	76.1	34.4	31.5	25.4
	スイッチOTC	65.2	22.4	18.5	13.4
	セルフメディケーション	85.5	40.0	27.8	26.7
	電子レシート（スマートレシート）	54.3	10.4	18.5	11.8

セルフメディケーション税制利用群の特徴

セルフ税制を利用（十分認知）している方が、
拡大を希望する症状（薬効）は、

胃腸の症状、疲労、皮膚のかゆみ、眠れないこと、漢方薬

	セルフ税制利用群			利用予備群・確定申告あり		利用予備群・確定申告なし	
	①②③合計	①	②③	④	⑤	⑥	⑦
	(n=138)	セルフ税制 トライアル (セルフ税制1回 /医療費控除な し・1回) (n=45)	セルフ税制主利用 /医療費控除主 利用 (n=93)	医療費控除 申告あり (n=125)	医療費控除 申告なし (n=90)	セルフ税制 認知・利用意向 ありTOP2 (n=107)	セルフ税制 認知・利用意向 なしBTM3 (n=108)
胃の痛み・胃酸過多・胸やけなど	58.7	57.8	59.1	32.8	35.6	24.3	17.6
下痢、便秘	44.9	46.7	44.1	24.8	33.3	24.3	17.6
疲れ・だるさ・倦怠感	50.7	55.6	48.4	32.8	30.0	31.8	21.3
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	55.1	60.0	52.7	33.6	40.0	25.2	25.0
目の疲れ、目のかすみ	65.9	57.8	69.9	39.2	48.9	47.7	26.9
頻尿、尿もれ、尿が出にくいなど	29.7	33.3	28.0	15.2	14.4	10.3	13.0
眠れない	34.8	35.6	34.4	21.6	18.9	15.0	13.0
薄毛・抜け毛	30.4	33.3	29.0	12.8	17.8	12.1	13.0
漢方薬	52.9	53.3	52.7	38.4	26.7	23.4	12.0

セルフメディケーション税制利用群の特徴

セルフメディケーション税制利用群は**40代**が中心

OTCの**領収書を保管**し、利用準備ができている **84.8%**

医療費を増やさないことに貢献している **37.0%**

	セルフメディケーション税制利用群			利用予備群・確定申告あり		利用予備群・確定申告なし	
	①②③合計	①	②③	④	⑤	⑥	⑦
	(n=138)	セルフメディケーション税制 トライアル (セルフメディケーション税制1回 /医療費控除なし・1回) (n=45)	セルフメディケーション税制主利用 /医療費控除主 利用 (n=93)	医療費控除 申告あり (n=125)	医療費控除 申告なし (n=90)	セルフメディケーション税制 認知・利用意向 ありTOP2 (n=107)	セルフメディケーション税制 認知・利用意向 なしBTM3 (n=108)
20代	5.8	8.9	4.3	0.0	2.2	7.5	3.7
30代	22.5	24.4	21.5	2.4	4.4	11.2	10.2
40代	29.7	33.3	28.0	22.4	20.0	33.6	17.6
50代	25.4	24.4	25.8	21.6	45.6	27.1	49.1
60代	16.7	8.9	20.4	53.6	27.8	20.6	19.4
OTCの領収書を保管 申告予定なし	84.8	66.7	93.5	26.4	24.4	25.2	8.3
(1)税金が還付されること	15.2	33.3	6.5	73.6	75.6	74.8	91.7
(2)自分や家族の健康意識が高まる	73.2	71.1	74.2	45.6	42.2	20.6	9.3
(3)医療費を増やさないことに貢献	29.7	33.3	28.0	13.6	7.8	7.5	0.9
	37.0	37.8	36.6	15.2	13.3	15.0	2.8

利用予備群にセルフメディケーション税制を利用いただきたいが、現状では、領収書の保管などの準備が不十分

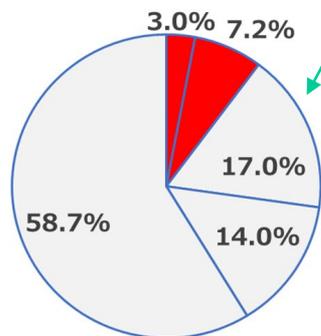
本日のサマリー①

1. 今年 of 生活者15万人調査でわかったこと

① 制度・用語の認知度

n=158,751

OTCがリスク区分で分類されていること	80.4%
セルフメディケーション	67.0%
セルフメディケーション税制	64.0%
OTC医薬品	60.4%
2022年から対象範囲が拡大すること	41.3%
電子レシート（スマートレシート）	40.8%
スイッチOTC	35.2%



- ①よく理解している
- ②ほぼ理解している
- ③聞いたことはあるがあまり理解していない
- ④聞いたことはあるが理解していない
- ⑤聞いたことがない

② 2020年の1年間に経験した症状

2020年	経験した
肩こり・首の痛み	49.9
腰痛	44.2
頭痛・生理痛	43.0
アレルギーの諸症状（鼻）	39.3
風邪の諸症状	35.4
アレルギーの諸症状（目）	32.0
関節痛	23.6
疲れ・だるさ・倦怠感	51.7
目の疲れ、かすみ、乾き	51.4
下痢、便秘	47.6
皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）	43.5
胃の痛み・もたれ・胸やけなど	36.7
眠れない	31.5
頻尿、尿もれなど	19.4
膣カンジダ	5.3

青グラフ：2022年からセルメ税制
の対象が拡大する症状群

本日のサマリー②

③セルメ税制利用群の特徴

- ✓ 15症状の全てで、症状経験率、OTC使用率、病院受診率のいずれも、15万人の平均値よりも高かった。
- ✓ 軽い症状であれば病院に行かず、OTCで対処する傾向がある。
- ✓ 総じて健康意識が高い。ITや金融のリテラシーが高く、確定申告のハードルが低い。
- ✓ セルメ税制利用の動機は、
 - ①税金が還付されること73.2%
 - ②医療費を増やさないことに貢献37.0%
 - ③自分や家族の健康意識が高まる29.7%
- ✓ セルメ税制の範囲拡大を希望する症状
 - ①目の疲れ、目のかすみ65.9%
 - ②胃の痛み、胃酸過多、胸やけなど58.7%
 - ③皮膚のかゆみ（湿疹・発疹）55.1%

④セルメ税制と医療費控除の関係

- ✓ 加齢とともに、セルメ税制よりも医療費控除の利用回数が増える傾向がある。
- ✓ 医療費控除のみの経験がある群は、セルメ税制利用群と比べて、健康意識と行動のレベルが低い。

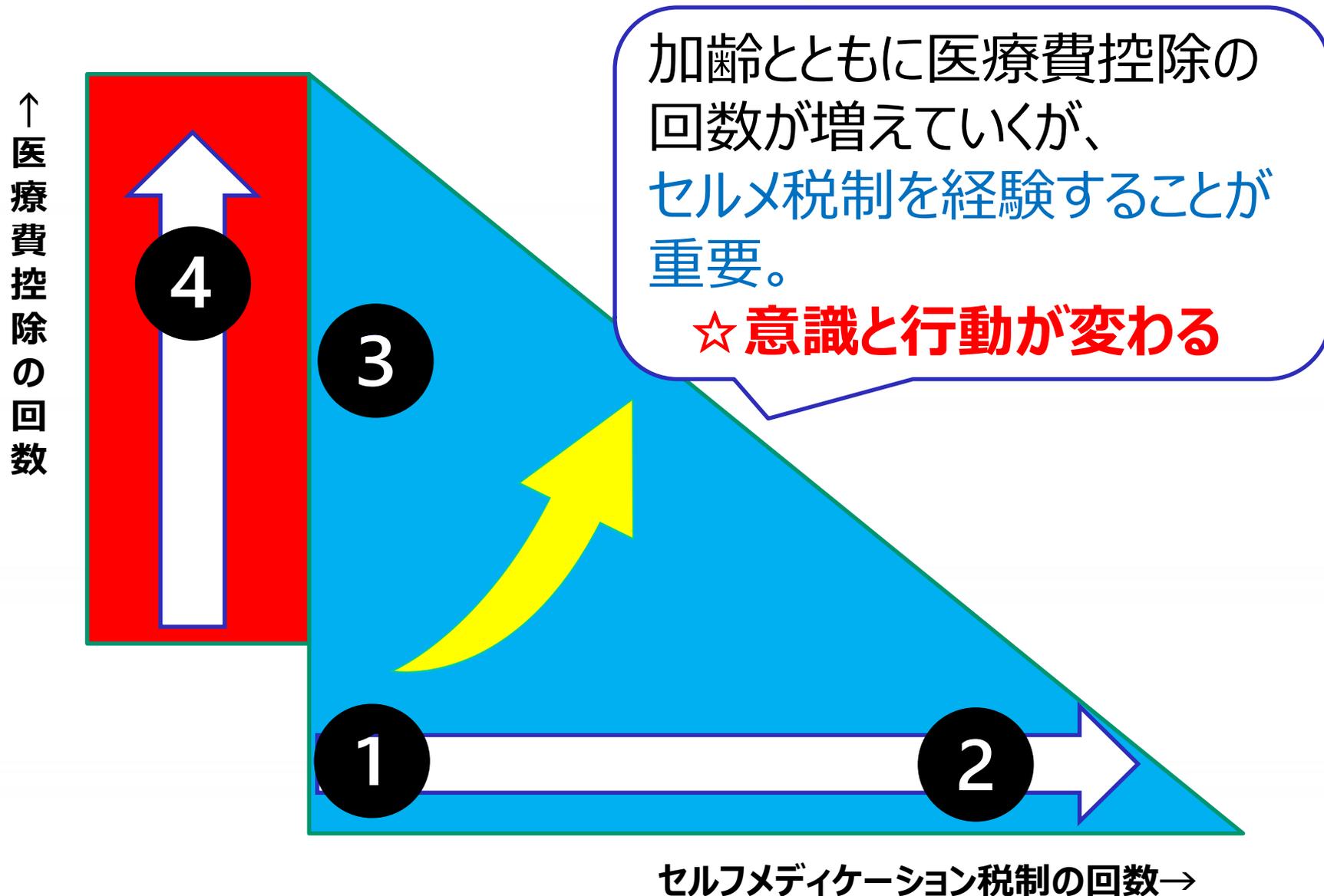
⑤セルメ税制を経験することの重要性

- ✓ 現役世代の30代、40代の利用を促進し、高いレベルの健康意識と行動を定着させることが重要である。

2. 調査結果を踏まえた活動

- ✓ 90秒で解説する動画シリーズなど、オウンドメディアを通じた広報の強化
- ✓ スマートレシートの普及啓発

セルフメディケーション税制と医療費控除の関係（イメージ図）



セルメ税制を経験していただくための産業界の活動

➤ 日本一般用医薬品連合会

「90秒解説動画」をシリーズ化して発信

<https://www.jfsmi.jp/lp/tax/movie/>

➤ JACDS

スマートレシートの導入を推進
適切なレシート印字の徹底

➤ JSM-DBC

税制対象品のJANコード等をデータベース化して情報提供